

平成26年度

全国私立中学高等学校
私立学校専門研修会

教 育 課 程 部 会
実 施 案 内

主 催 一般財団法人私学研修福祉会
後 援 日本私立中学高等学校連合会

協 力 一般財団法人日本私学教育研究所

◆(研究のねらい)◆

これからの私学の教育課程 — ICT活用教育を考える—

本部会は、学習指導要領の研究を通して、次期学習指導要領の編成過程において訴えるべき、私立学校の姿勢・意見を形成することを研究目標としております。

昨年、当部会では「新学習指導要領とこれからの学習指導—グローバル化の観点から教育内容を考える—」をねらいとして、ICT活用教育に重点を置いて開催いたしましたが、ICT活用教育の取り組みについては、進んでいる学校、これから検討する学校と学校間に格差があり、グローバル化が急速に進む中で、諸外国に比べて日本のICT活用教育は遅れをとっている印象は否めません。特に私学は、金銭的な問題等が大きな要因となっています。

本年度は、さらにICT活用教育に重点を置き、「これからの私学の教育課程—ICT活用教育を考える—」を研究のねらいとし、まず基調講演で同志社女子大学学芸学部情報メディア学科教授の余田義彦先生から、ICT活用教育の現状と今後、問題点等についてお話しいただき、昨年の研修会で要望が多かったICT活用授業の参観を実施し、京都府の同志社中学校・高等学校にて、研究授業・公開授業を行っていただいた上で、ICT活用授業についての研究協議を行います。

さらに、ICT活用教育以外の「私立中学高等学校教育に関わる最新の状況」について、当研究所所長より報告いたします。

研修会の最後には、参加された先生方がいくつかのグループに分かれて、今回の講演、研究授業、報告等を受けて、意見交換を行う分散会を用意いたしました。

校務ご多忙の時期とは存じますが、多くの先生方の参加をお待ちしております。

◆会 期◆ 平成26年6月16日(月)

◆会 場◆ 国立京都国際会館 アネックスホール (京都市左京区宝ヶ池 電話075-705-1234)
同志社中学校・高等学校 (京都市左京区岩倉大鷲町89 電話075-781-7121)

◆募集人員◆ 120名

◆参加対象◆ 理事長・校長・教頭・教務主任及び教育課程編成等担当教員

◆参加会費◆ 17,000円 (昼食費を含む。※宿泊費別)

◆研修プログラム◆

◇基調講演◇ 演 題 「ICTで育む21世紀型学力」
講 師 同志社女子大学学芸学部情報メディア学科 教 授 余 田 義 彦

◇報 告◇ テーマ 「私立中学高等学校教育に関わる最新の状況
—中高連・日私教研からの報告—」
報告者 一般財団法人日本私学教育研究所 所 長 中 川 武 夫

◇研究授業・研究協議・研究発表・公開授業◇

「同志社中学校・高等学校」

●あいさつ

同志社中学校・高等学校 校長 木村 良己

●学校紹介(「iPad×ABC=新たな学びの創造」—タブレット1人1台環境と生徒の主体的な学び—)

同志社中学校・高等学校 教諭 反田 任

●研究授業・研究協議・研究発表・公開授業・学校見学 (選択)

研究授業・研究協議・研究発表・公開授業・学校見学は同志社中学校・高等学校の5時間目、6時間目に行います。ご希望のプログラムを下記より選び、参加申込書の所定欄にご記入ください。(5時間目をAからCより、6時間目をDからHより、それぞれ1つずつお選びください。)

なお、C、Gの公開授業(授業参観)はICT活用教育授業とは限りません。公開授業の教科等は未定ですが、参考のため、参加申込書の所定欄にご希望(担当)の教科等名をご記入ください。教科により授業が行われない場合もあることをご了承ください。(6時間目の公開授業は中学校のみです。)

5時間目(13時20分～14時20分)

A. 高等学校「情報」研究授業 (授業参観)

授業者 同志社中学校・高等学校 教諭 鈴木 潤

B. 中学校「英語」研究授業 (同志社中学校「公開授業研究会」との共催)

授業者 同志社中学校・高等学校 教諭 反田 任

※本研修会の参加者以外の方も参加しておりますのでご注意ください。

C. 公開授業 (授業参観)

※公開授業は、同志社中学校・高等学校で、約15の授業を予定しております。本研修会の参加者以外の方も参加しておりますのでご注意ください。

6時間目(14時20分～15時20分)

D. 高等学校「情報」研究協議

担当 同志社中学校・高等学校 教諭 鈴木 潤

※5時間目の高等学校「情報」の授業を参観した上で、授業者の鈴木 潤先生を交えて、質疑応答、意見交換を行います。

E. 高等学校「理科(物理)」研究発表

発表者 同志社中学校・高等学校 教頭 山崎 敏昭

※ICTを活用した物理授業のアクティブ・ラーニング、特にITセンサーやモデリングソフトを用いた物理教育研究について実践等を交えた発表を行います。

F. 中学校「英語」公開研究協議 (同志社中学校「公開授業研究会」との共催)

担当 同志社中学校・高等学校 教諭 反田 任

※5時間目の公開授業「中学校『英語』」を参観した上で、授業者の反田 任先生を交えて、質疑応答、意見交換を行います。(本研修会の参加者以外の方も参加しておりますのでご注意ください。)

G. 公開授業 (授業参観)

※6時間目は中学校のみの公開授業を予定しております。本研修会の参加者以外の方も参加しておりますのでご注意ください。

H. 学校見学 (同志社中学校・高等学校の施設・設備を見学いたします。)

※上記B・FおよびC・Gは、本研修会の参加者以外の方も参加しておりますのでご注意ください。

◇分散会◇ テーマ「これからの私学の教育課程—ICT活用教育を考える—」

※基調講演・研究授業・研究発表・報告を受けて、参加の先生方にいくつかのグループに分かれて、意見交換をしていただきます。ICT活用教育、教育課程に関する内容等で、意見交換を希望するテーマがございましたら、参加申込書の所定欄にご記入ください。(具体的に記入いただければ幸いです。)

◇まとめ◇ 「研修会の総括」(閉会式にて)

教育課程専門委員長 清水 哲雄

◆基本日程（案）◆

	9		10		11		12		13		14		15		16		17	
		20				30		30		20		20		20			40	
6月16日 (月)	受 付	開 会 式	報 告	基 調 講 演				昼 食 ・ 移 動	挨拶・ 学校紹介 等	研究授業 公開授業	研究協議 研究発表 公開授業 学校見学	分 散 会				閉 会 式		

※進行の状況により、変更になる場合がございますのでご了承ください。

◆講師・発表者・指導講師（順不同）◆

- 余 田 義 彦（同志社女子大学学芸学部情報メディア学科 教授）
- 木 村 良 己（同志社中学校・高等学校 校長）
- 山 崎 敏 昭（同志社中学校・高等学校 教頭）
- 反 田 任（同志社中学校・高等学校 教諭）
- 鈴 木 潤（同志社中学校・高等学校 教諭）
- 中 川 武 夫（一般財団法人日本私学教育研究所 所長）

◆専門委員・客員研究員・指導員（順不同）◆

- 清 水 哲 雄（学校法人鷗友学園 常務理事）
- 山 本 与志春（学校法人青山学院 常務理事）
- 北 村 聡（京都外大西高等学校 校長）
- 大多和 聡 宏（開星中学校・高等学校 理事長・校長）
- 助 川 幸 彦（芝中学校・高等学校 前校長）
- 鈴 木 秀 一（一般財団法人日本私学教育研究所 事務局長）

講師紹介

余 田 義 彦（ヨデンヨシヒコ）

1957年、兵庫県生まれ。筑波大学、同大学院修了（教育学修士）、県立高等学校教諭（兵庫県）、武庫川女子大学講師、東京家政学院筑波女子大学短期大学部助教授を経て、2002年4月より同志社女子大学学芸学部情報メディア学科教授。専攻は教育学、科学教育、情報教育。昭和63年度科学教育学会研究奨励賞、平成5年度日本教育工学会研究奨励賞、平成12年度私立大学情報教育協会情報教育研究奨励賞を受賞。日本教育工学会、日本科学教育学会に所属。著書に「生きる力をはぐくむ算数授業の創造」（分担執筆、ニチブン、1999年）、「生きる力を育てるデジタルポートフォリオ学習と評価」（編著、高陵社書店、2001年）、「教育学を始めよう」（共著、北大路書房、2002年）、「ネットワークで育む『確かな学力』」（編著、二十一世紀教育研究所、2003年）、「確かな学力を育てる IT の先進的な教育利用」（分担執筆、東洋館出版社、2004年）等。

学校紹介

同志社中学校・高等学校

1875(明治8)年、新島 襄 によって創立され、「こころざし」によって建てられた志(私)立学校であり、キリスト教を徳育の基本とするキリスト教主義学校である。「同じ志を持つ者たちの結社＝同志社」という学校名称の真ん中に「志」を据え、「キリスト教主義・自由主義・国際主義」という三つの「志」を軸に、「一国の良心」とも言うべき「良心を手腕に運用する人物」を世に送り出すことに努めている。

戦後の教育改革の中、今出川キャンパスで同志社中学校、同志社高等学校としての歩みを始め、高等学校の岩倉キャンパス移転に伴いそれぞれの歴史を刻んできたが、2010年に「中高統合」、中学校の今出川キャンパスからの移転を経て、現在、同志社中学校・高等学校として建学の精神に基づく教育を実践している。2006年に開校した同志社小学校（大学付属）と共に、岩倉キャンパスでの小、中・高一貫という「同志社良心教育」の一大潮流となっている。比叡山・北山・宝ヶ池に包まれた広大なキャンパスには、中学教室棟：立志(りっし)館・高校教室棟：桑志(そうし)館・チャペル棟：宿志(しゅくし)館という3つの「志」を核にして、それらを支える各種機能を有した校舎群が建ち並ぶ。中学では、生徒作品や教科教材を展示したメディアスペース・教科ステーション・HOME-BASE を教科専門教室に隣接させた参加型の学びと専門的な学びを深める「教科センター方式」。高校では、HOME-ROOM を主体に、異なった指向を持つ仲間たちが共に生き、自主的・主体的に学ぶ「特別教室方式」。いずれも「HOME」という居心地の良い、居場所のある教育空間が創り出され、発達段階に応じた同志社一貫教育を通して、良心を磨きつつ、「豊かな人間性」「優れた学問性」「違いを認め合える共生力」とを培い続けている。

今年(2014年)、創立139周年を迎えると共に、開国を待たずに新島が夢と理想を抱いて単独脱国した1864年旧暦6月14日から150周年の節目の年を迎えようとしている。

◆参加申込方法◆

1. 別紙「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、下記「申込先」にご郵送または FAX にてお送りください。お電話での申込は受け付けません。

◇申込締切日◇ 平成26年5月30日（金）必着

※申し込みは先着順に受け付けますので募集人員をこえた場合は、期日前でも締め切らせていただくことがあります。

◇申 込 先◇

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6階
「一般財団法人 日本私学教育研究所 私立学校専門研修会係」宛
電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683
ホームページ <http://www.shigaku.or.jp/>

2. 参加申込書受付後、「参加確認証」と「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」をお送りいたしますので、指定されたコンビニエンスストアで参加費(17,000円)をお振り込みください。なお、参加費等の領収書は「払込受領証」をもって代えさせていただきますので、大切に保管してください。

※申し込み後、2週間以内に上記の書類が届かない場合はお電話にてご確認ください。

◆参加申込後の注意◆

1. 「参加確認証」は当日受付でご提示いただきますので、必ずご持参ください。なお、記載事項に訂正がある場合は、必ずご連絡ください。

2. 参加申込のキャンセル・ご欠席について

必ずお電話(03-3222-1621)にて「私立学校専門研修会係」までご連絡ください。なお、参加費のご返金・キャンセル料等は下記にて取り扱いますのでご了承ください。

① 6月13日（金）15時00分までにご連絡をいただいた場合はお振り込みいただいた参加会費は研修会終了後1ヶ月以内にご返金いたします。

ただし、事務手数料として1,000円を申し受けますのでご了承ください。

② 6月13日（金）15時00分以降にご連絡をいただいた場合、または無断でご欠席の場合はいったん納入された参加費は返金できません。研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。

なお、参加費のお振り込みがされていない場合でも、キャンセル料を全額申し受けますのでご注意ください。

◆個人情報の取扱について◆

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要がある場合のみに利用いたします。

会場のご案内



アクセス

●鉄道をご利用の場合

JR 京都駅から市営地下鉄烏丸線で「国際会館駅」下車（約20分）。「国際会館駅」から徒歩約5分。

※改札から地下通路を通り出入口4-2をご利用ください。

出入口から、歩廊に沿って、正面玄関前を通り、アネックスホール入口よりお入りください。

●車をご利用の場合

市内中心部からタクシーで平常時約25分

京都駅からタクシーで平常時約30分、関西国際空港からは約1時間30分。

名神高速道路京都南 I.C.、京都東 I.C. から平常時約40分。

堀川通または烏丸通を北山通まで北上し、宝ヶ池通りよりお越しください。

※国立京都国際会館の駐車場（有料）が利用できますが、研修会当日は本館が改装中のため、工事車両の出入りや駐車台数が制限される場合がございますのでご了承くださいませようお願いします。

駐車料金は1日（1回）800円（消費税率変更のため料金に変更になる場合があります。）。

平成26年度 全国私立中学高等学校
 私立学校専門研修会・教育課程部会
 参加申込書

平成26年__月__日

① 参加者氏名	(ふりがな) _____		<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
② 学校名		③ 職名	
④ 学校住所	〒 _____ TEL () _____ FAX () _____		
※ 参加確認証を上記の参加者ご本人、または学校住所以外への送付を希望する場合は、通信欄に送付先および受取人氏名をご記入ください。			
⑤ 参加者連絡先*	※緊急の場合、確実に連絡がとれる携帯電話番号・自宅電話番号等をご記入ください。		
⑥ 研究授業および研究発表 ※ご希望のプログラムを5時間目をA・B・C、6時間目をCからFより、それぞれ一つずつ選んで□内に記入してください。 ※CおよびGを選択された方は、授業参観を希望する、または担当されている教科等名をご記入ください。	5時間目 (13時20分～14時20分) プログラム <input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> A. 「高等学校『情報』」(研究授業) B. 「中学校『英語』」(公開研究授業 ※一般公開) C. 「公開授業」(※一般公開 ICT活用授業とは限りません。) ※Cの「公開授業」を選択された方は、希望(担当)教科等名をご記入ください。 → <input type="text"/>	6時間目 (14時20分～15時20分) プログラム <input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> D. 「高等学校『情報』」(研究協議) E. 「高等学校『理科(物理)』」(研究発表) F. 「中学校『英語』」(公開研究協議) G. 「公開授業」(※一般公開 ICT活用授業とは限りません。) H. 「学校見学」 ※Gの「公開授業」を選択された方は、希望(担当)教科等名をご記入ください。 → <input type="text"/>	
⑦ アンケート 【分散会】分散会でICT活用教育、教育課程に関する内容等で、意見交換を希望するテーマがございましたら、下記にご記入ください。(具体的に記入いただければ幸いです) _____ _____ _____ ※分散会の時間が1時間程度のため、本アンケートでご回答いただいたすべての事項を取り上げることができない場合がございますので、予めご了承ください。			
⑧ 通信欄			

※郵送、FAXでお申し込みください。
 ※複数名の参加の場合は、恐れ入りますが、本参加申込書をコピーしてご記入ください。

受付番号